



地域課題の解決や人材育成に向けた包括的連携協定を締結します

熊本学園大学と株式会社熊本日日新聞社は、相互の連携・協力のもと、地域課題の解決や人材育成等に寄与することを目的とした包括的連携協定を締結いたします。調印式を1月22日(金)に「びふれすイノベーションスタジオ」で執り行い、式後、本学商学部の学生が同スタジオの学生利用の活性化に向けた課題解決案を提案します。

本学と熊本日日新聞社は、ともに1942(昭和17)年の創立で、地元熊本に根付き、発展を続けています。熊本日日新聞社からは、本学の正課の講義や課外講座へ講師派遣を受けたり、本学園(学校法人熊本学園)の理事・評議員として法人の運営にも協力を得たりと、長きにわたり相互交流を図ってきました。双方の創立50周年を記念し、1992(平成4)年に共催事業として始めた市民公開講座「DOがくもん」は、2019年度まで27期(238回)にわたり各界の著名人を講師に迎え開講し、生涯学習の場として地域の皆さまに親しまれています(2020年度は新型コロナウイルスの影響で中止としています)。今年度は、商学部商学科池上恭子教授のゼミ生が、同社から「びふれすイノベーションスタジオ」について、「どのようにすれば若い世代(大学生)の利用を増やせるか」との課題提示を受け、大学生の目線で考え、施策をまとめてきました。

今回の協定締結では、以下に関する事項についてより一層の連携協力を進めてまいります。学生の学びと柔軟な発想をいかし、同社とともに地域社会の発展や文化の向上に向けて取り組んでいく、新たな連携の形が生まれることが期待されます。

< 協 定 事 項 >

- (1) 新たなビジネス創出や地域課題解決 (2) 地域の産業振興 (3) 地域の文化の発展
 (4) 学生の教育、就職支援、インターンシップ等 (5) その他、両者が協議して必要と認めること

なお、本学はこれまで熊本県内11市町・3団体・1企業・2大学、および全国の6大学間で包括的連携協定を結んでおり、今回の協定締結は19例目となります。よろしければ取材いただきますようご案内申し上げます。

取材ご希望の方は必ず事前にご一報いただきますようお願いいたします

熊本学園大学・株式会社熊本日日新聞社 包括的連携協定調印式

| | | | |
|-----|----------------------------------------|-------------|----------|
| 日 時 | 2021年1月22日(金) 開始 10:00～ 閉式後、学生による発表 | | |
| 会 場 | びふれすイノベーションスタジオ (熊本市中央区上通町びふれす熊日会館 7階) | | |
| 出席者 | [熊本学園大学] | 学長 | 細江 守紀 |
| | | 商学部教授 | 池上 恭子 |
| | [熊本日日新聞社] | 代表取締役社長 | 河村 邦比兎 |
| | | 取締役ビジネス開発局長 | 山口 和也 ほか |

本リリースについてのお問合せ

熊本学園大学 広報室 TEL : 096-364-8722 (直通) Mail : koho-kgu@kumagaku.ac.jp

熊本学園大学 プレスリリース等メディア情報一覧
<https://www.kumagaku.ac.jp/news/archives/category/media>

